

■OpenChain Japan WG license-info-sg

日時:2019/06/11(火) 9:00-11:00

場所:トヨタ自動車東京オフィス(飯田橋)

議事:當麻 徹

出席者:

伊藤さん(ルネサス)
浅羽さん(富士通CT)
安倍さん(富士通CT)
岸波さん(富士通CT) Skype参加
忍頂寺さん(DeNA)
小泉さん(オリンパス)
大内さん(富士通)
御子柴さん(富士通)
當麻さん(パイオニア)
遠藤さん(トヨタ自動車)
田中さん(東芝)

■Agenda

- ・ガイドライン作成
 - 英語化した目次案、各項目に関する記載内容素案 (Slack投稿版)のレビュー
 - 次回SPDX Asia Tel-Confへの提案に際しての付議項目(が、あるか?)
- ・SPDX Lite外部で収受する(サプライチェーン下流からの要望等)情報
 - これまでの議論のまとめ、できれば目次案
- ・ガイドラインの公開・提示方針案
 - 時期・文書としての配布有無(プロモーションSWGへの提案内容があるか?)
- ・次回SPDX Asia Tel-Conf
 - 提案できる内容があるならば(「ガイドライン」以外があるなら?)

■議事

★がついている部分が大事な所です

・ガイドラインの作成について

[https://github.com/ambai/Japan-WG-General/blob/master/License-Info-Exchange/Gudeline/License-Info-Gudeline\(JP\).md](https://github.com/ambai/Japan-WG-General/blob/master/License-Info-Exchange/Gudeline/License-Info-Gudeline(JP).md)
安倍さん作成の案を確認した

★リーフレットのURLは特定のバージョンではなく最新版を指すように工夫する
例 ファイル名にlatestとつける。
またはディレクトリを指定して多言語に対応できるようにする

ライセンス情報の項目について

★ 1.のSPDX liteの最後の部分に説明図を追加する
human readableであることなどの利点や、いわゆるspread sheetに入力できるなど。
なんらかの絵を入れてわかりやすくする。絵心のある人を居ませんか?

その上でサンプルspread sheetのテンプレートを添付すればよいのではないか

2.Package nameなどの各項目について
説明部分に具体例を入れた方がわかりやすいのではないか。
入力が簡単であることを示したい
-->ライセンス情報の作成手順の項目に具体例あり

★最初はこの構成でやってみる

★サンプルspread sheetに具体例を入れておき、各項目の説明にわかるようにするのはどうか

★当面はHTMLなどの電子データでの配布を想定する。現時点では紙は考えない

★項目の名前やバージョンなどをどう書けばよいのかのお薦めを書いておく。
fossologyやSPDXの略語など

★ライセンスに関してはSPDXの定義へのリンクをつける
ここは記入者にはカッチリ書いて欲しい所

Package Nameは記入者によって変わってしまう。

glibc, lib, libc6など、ゆらぎが生じる
まずは書いて埋めて欲しいスタンスで進める。
不正確でも書いてもらうことが大事

同一ソースでconfigurationが変わる場合の書き方

SPDXとのテレカンではファイル名にコンパイルオプションに関する情報を入れてもよいとのことだった

package name とpackage file nameは同一でもよい

サプライヤを信じて使う場合を想定する。(性善説)
とにかく情報を出させる。まずは書いてもらう。

ライセンス表記

SPDX license listで書いてもらい、
わからない部分はコメントに記載してもらう。

BSD-2 Clauseまではわかるけど、その先がわからないばあいの誘導策を示してあげる
コメント欄に不確実であることを書いてもらう

ソース納品なら上記で良い。受け取り側で調べられる。
バイナリ納品の場合はカッチリ書いてもらいたい。

ライセンスが不明確だった場合は extracted textにライセンスが貼られるはず

不明なライセンスの場合の書き方

license identifierにRef-1などと書く
license textにはライセンス本文を貼り付ける

concluded license/declared licenseにはRef-1とかく

こうすればSPDXの作法を守れる

modification record

★SPDX Liteで追加した項目であることを明確にする

-->このあたりはSPDX WGの方々は、まだ認識されていない気がします。
(小保田さんのコメント2019/6/17)

ユーザーによるソースコードの改変のことを示す項目。
少しでも変えたら改変になる。

ソース、パッチで別々にSPDXを用意するならfalseになる
ひとまとめにして書くのであればtrueになる

受け取った側が改変を知りたいための項目
輸出管理目的でもある

★大体の方針を書いておき、進める

-->どうして欲しいのかを説明する
パッケージの提供者に対する項目

SPDX liteはtree構造ではなくflatな構造にすることを目的にしている

4.ライセンス情報の作成手順

ソースコードと対象としている。バイナリではない

★あまり無理をしない範囲で注釈を入れる

Package Download URL

改変ありの場合はここはそのまま、改変ありをtrueにする

Package Home Page

トレーサビリティを確保するために書いて欲しいが、
検索して記入する工数を使わせる位ならオプションにしても良い

コミュニティサイトのURLを書いて欲しい

5.ライセンス情報のサンプル

★最初の前提のところ「組み込み機器を想定している」ことを書いて欲しい

SPDX liteは一番条件が厳しいと思われるembeddedを想定して検討している
それより厳しいものがあるのであれば今のうちに取り込んでおきたい。
BtoCを想定している。

ネットサービスやBtoBの場合には過剰である懸念がある

来週コミュニティに持っていくための情報

付帯的な情報として組み込み系とそれ以外として別れて行くかもしれない。
オープンにする時には組み込み系を前提として議論したことを示す

wikiのこのWGの紹介のところ「組み込み系を前提として議論したことを示す

■新WGの紹介(遠藤さん)

OpenChain Automotive WG

自動車業界の標準を作る活動

MLからスタートする

月1位でWGを開きたい

F2Fは大きなイベントに合わせて開催予定(EU,JP,US)

■次回

来週のSPDXテレカン是个々に参加する

2週間後

6/25(火) 11:00~13:00 蒲田 富士通ソリューションスクエア